

# えほんのおへや通信



2013年1月1日(火)発行 サンガこども園

新しい年を迎えると気持ちが改まるものです。初詣でに出かけ神仏に願いをかけた方も多いと思います。干支(えと)は辰(たつ)から巳(み)に変わりました。へビは古くは太陽信仰の象徴、明るい年であってほしいですね。

**サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」1月号の紹介。**

## こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

### 「わん ニャン」

きむらよしお作

イヌが「わん」と鳴けば、ネコは「ニャン」と鳴く。イヌが「わん」としっぽをふれば、ネコも「ニャン」としっぽをふる。イヌとネコの2匹が繰り広げる掛け合いが楽しい絵本です。



## こどものとも 年少版

2～4歳向き

### 「トラックはこぶよ」

こもりまこと作

あしこぎトラックがちびトラックの上ののって、ちびトラックはお兄さんトラックの上ののって、お兄さんトラックは……。あれあれ？ どんどんトラックが積み重なって、いったいどこまで行くのかな？



## こどものとも 年中向き

4～5歳向き

### 「まのいいりょうし 〈再版〉」

瀬田貞二再話 / 赤羽末吉画

息子の七つのお祝いに山で何かとってこようとした猟師は、出がけに鉄砲を落として筒をへの字に曲げてしまった。さて、その鉄砲で鴨をドカンとうつと……。



## こどものとも

5～6歳向き

### 「ぶすのつぼ」～日本の昔話～

日野十成再話 / 本間利依絵

和尚さんは、水飴を小僧さんたちに食べられまいと「毒だから近づかないように」と言いおいて出かけていきます。小僧さんたちは、留守の間にそれを確かめようとして、水飴をすっかり食べてしまいました。さあ、どうするでしょう。



## ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

### 「ちいさな ふく ちいさな ぼく」

大橋政人文 / 池谷陽子絵

ぼくが1才のときの服、2才のときの服……ならべてびっくり。ぼく、ほんとうにこんなに小さかったの？ 小さな服をきていた小さなぼくは、どこにいったらあったんだろう？



**他にこんな絵本も購入しました。**

### 「さんすうだいすき②なかまあつめ」

編著者 遠山啓

3歳～

#### 【内容】

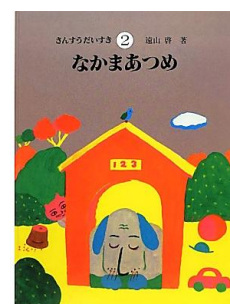
同じ種類のなかま集め(集合づくり)、なかまはずれ(集合わけ)、どちらがたかさ？算数の基礎を楽しんで学べます！

絵や図を楽しみながら自然に算数の準備ができるよう、ゆっくり進みます。子どもがもちやすい疑問を研究し、どの子にも理解できるようにつくられた絵本です。

#### 【学習のポイント】

数はもともと「りんごが3個」「ねこが2ひき」などというように物の集まりの大きさをあらわすものです。そういう意味で数を理解するには、同じ種類のものを集める(集合づくり-なかまあつめ)、そして集めたものをくらべるという学習(生活体験)を経なければなりません。

4歳頃から子どもはミニカーやお人形などで同じものを欲しがりますし、またそれらで喜んで遊んでいます。よく見ると同じ種類のものを集めています。(集合づくり-なかまあつめ)もう数の意味がわかるのです。



日本図書センター

#### 【雑感】

自然と触れ合うことにより、ケガをしたり、すべったり、転んだり。自らの体験を通し、自力による危険予知能力を養います。

いつの時代でもひ弱な子、やんちゃな子はいます。心配ばかりしてないで、今、大人ができることを過保護にならずに子どもと一緒に楽しむことが大事ではないでしょうか。

